

茨城大学基金

2019年度活動報告

速報

総務部 基金・同窓会課

2019年度の茨城大学基金

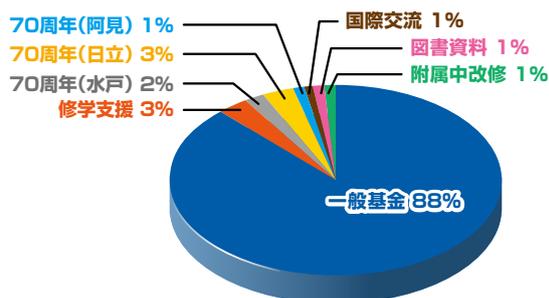
茨城大学は、2019年に創立70周年の節目を迎えました。

この70周年という節目の年に合わせて、本学では、地域の”知の拠点”としての歴史を振り返り、将来の展望を考える機会にするとともに、未来の社会を担う学生の学修環境を向上させるため、水戸、日立、阿見の各キャンパスの整備事業を中心に創立70周年記念事業を展開してまいりました。

本基金ではこれらの取組を支援するため、寄附を募った結果、総寄附件数は、1,320件、総額は、3億7,500万円という過去最高額のご協力を賜りました。

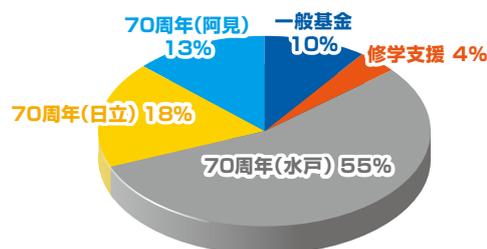
これも、同窓会・地域の皆様、関係企業・団体の皆様など、多くの方々からの本学へのご理解、ご協力によるものであり、深く感謝申し上げます。

2019年度事業別寄附額割合



件数 1,320件 寄附総額 374,977,775円

2019年度事業別支援額割合



支援総額 79,317,729円

2019年度の支援について

1. 一般基金

<全学教職センターへの支援>

全学教職センターは、2016年に本学の全学的な教員養成機能を充実させる目的で設置され、豊富な現場経験を持つスタッフを揃え、将来の教員が持つべき指導力、理解力と高度なコミュニケーション能力のある教員の育成に取り組んでいます。

2019年度は、教員採用試験を目指す学生たちを対象とした直前対策指導講習会のために基金を活用させていただきました。

本学の教員採用試験合格率は、全国でもトップクラスを誇っており、今後とも本学では、教育現場に優れた人材を送り出してまいります。ご寄附を賜りました皆様に深く感謝申し上げます。

この他にも、教育・研究活動、地域連携活動、学生活動など、本学では一般基金を活用して、様々な活動を展開しています。



2. 修学支援事業基金

社会の変動や家計の急変などによって、生活困窮に陥り、学業の継続に困難をきたしている学生たちに、経済的な支援を行っています。

2019年度は、修学支度金として学生ひとり当たり3万円を106名の学生に支援することができました。



3. 創立70周年記念事業基金

<水戸：学生食堂改修整備>

学生協会の食堂スペースについては、かねてから水戸キャンパスの学生数に応じた十分なスペースが確保できていない状況にありました。改修後は、新たに建物を増築することにより、249席が増設されました。

いただきました寄附の総件数は、500件、総額4,330万円のご支援を賜り、長年の学生からの要望に応えることができました。



<増築した学生食堂>

<日立：正門周辺整備>

日立キャンパス前の道路拡張工事に伴い、地域に開かれた開放感のあるキャンパスと公共空間への貢献・まちの魅力向上を理念として日立キャンパス正門の周辺整備事業を進めてまいりました。周辺には、コンビニエンスストアも新たにオープンし、正門横のバス待合所も整備されました。

いただきました寄附の総件数は、1,194件、総額2,300万円のご支援を賜り、キャンパスと周辺地域の利便性を大きく向上することができました。

↓ <日立キャンパス正門周辺整備事業後>



<阿見：フードイノベーション棟整備>

↑ <農学部フードイノベーション棟>

フードイノベーション棟は、地域の食・農の未来を支える新たな教育・研究拠点として2019年6月に完成しました。食品加工の国際的な安全衛生基準に対応した実験、大講義室、ラーニングコモンズを備え、多くの学生が主体性をもって学習できるスペースが設けられております。

いただきました寄附の総件数は、344件、総額1,060万円のご支援を賜り、食と農の未来を担う人材育成のための教育の場を充実させることができました。

※「創立70周年記念事業基金」の募集は、2020年3月末をもって終了いたしました。